

(参考和訳)



## 2016 年度第 4 四半期 決算リリース

### ロイヤル・バンク・オブ・カナダ、第 4 四半期決算と過去最高益の 2016 年度通期決算を発表

以下に示す金額はすべてカナダドル建てで、2016 年 10 月 31 日に終了した会計年度および四半期に関する監査済みの年次連結財務諸表と監査前の中間連結財務諸表に基づいており、関連する注記は国際財務報告基準 (IFRS) に従って作成しています。2016 年度の年次報告書 (監査済みの年次連結財務諸表と付随する経営陣の解説・分析を含みます)、2016 年度の年次財務情報、および補足財務情報につきましては、当行のウェブサイトにてご覧いただけます：

<http://www.rbc.com/investorrelations>

【トロント、2016 年 11 月 30 日】ロイヤル・バンク・オブ・カナダ (トロント、ニューヨーク両証券取引所のティッカーは RY) は本日、2016 年度通期 (2015 年 11 月 1 日～2016 年 10 月 31 日) の純利益が過去最高の 104.58 億ドルとなり、前期の実績から 4.32 億ドル、率にして 4%増加したと発表しました。業績を牽引したのは、買収したシティー・ナショナル・バンク (シティー・ナショナル) を含むウェルスマネジメント部門の好決算、および 2016 年度第 3 四半期に住宅・自動車保険事業の売却益を計上したインシュアランス部門の増益でした。パーソナル&コマーシャル・バンキング部門の堅調な決算とインベスター&トレジャリー・サービス部門の最高益も全体の増益に寄与しました。これらの要因はキャピタルマーケット部門の減益によって一部相殺されました。当行の業績はまた、効率管理への継続的な取り組みからも恩恵を受けました。さらに、貸倒引当金 (PCL) 比率は原油安環境などを背景に 0.29%と 5 ベースポイント (bp) 上昇しました。

2016 年 10 月 31 日時点では、当行の資本基盤は堅固で、バーゼル III に基づく普通株式等 Tier 1 (CET1) 比率は 10.8%となりました。また、2016 年度は四半期配当を 2 回引き上げ、通期で 5%の増配を実施しました。

RBC の頭取兼 CEO であるデーブ・マックイは、「顧客の皆様の成功を重視した当行の多角的なビジネスモデルの強みを原動力に、2016 年度は 105 億ドルの過去最高益を達成しました。当行の業績は、シティー・ナショナルの統合の成功と規律あるコスト・リスク管理へのコミットメントの表れでもあり、満足しています」と指摘しました。そして、「先行きを展望すると、業界は逆風や加速する変化に直面していますが、当行は、革新的な取り組みや、顧客の皆様との強固な関係を支える独自の価値観に根差した文化、慎重な資本・リスク管理を生かし、長期的な株主価値の向上を図る上で有利な立場にあると考えます」と述べました。

#### 2016 年度と 2015 年度の比較

- 純利益は 104.58 億ドル (100.26 億ドルから 4%増加)
- 希薄化後 1 株利益 (EPS) は 6.78 ドル (6.73 ドルから 0.05 ドル増加)
- 普通株主資本利益率 (ROE) <sup>(1)</sup> は 16.3% (18.6%から低下)
- バーゼル III に基づく CET1 比率は 10.8% (10.6%から上昇)

<sup>1</sup> ROE は GAAP の下では意味が統一されていません。さらに詳しい情報につきましては、本決算リリース (英語版) 11 ページの「主要な業績と非 GAAP 財務指標」のセクションをご参照ください。

## 2016年度の事業セグメント別業績

- パーソナル&コマーシャル・バンキング部門は4%の増益となりました。利鞘の縮小によって打ち消された部分があるとはいえ大半のビジネスで取引高が堅調に拡大し、カナダ銀行事業の手数料ベースの収入が増え、カリブ海銀行事業も増益となったことなどを反映しました。これらの要因は、カナダでの事業拡大費用の増加やPCLの拡大によって一部相殺されました。カナダ銀行事業では、慎重なコスト管理の成果を反映し、経費率が43.4%とさらに改善しました。
- ウェルスマネジメント部門は、シティー・ナショナルが業績に算入され、海外資産運用事業に関連したリストラ費用が減少し、効率管理の成果が表れたことなどから、41%の増益となりました。
- インシュアランス部門は27%の増益でした。住宅・自動車保険事業の売却益を除くと、純利益は英国の新規年金契約に起因する減益や、住宅・自動車保険事業の売却による収益の減少などに伴い、6%減少しました<sup>(2)</sup>。
- インベスター&トレジャリー・サービス部門は資金調達・流動性関連事業の増益や、顧客預金の利鞘拡大などを背景に、10%の増益となりました。
- キャピタルマーケット部門は2%の減益でした。PCLの増加やグローバルマーケット事業と法人金融・投資銀行事業の減益が足を引っ張りましたが、変動報酬の減少や為替換算の好影響によって部分的に打ち消されました。

## 2016年度第4四半期と2015年度第4四半期の比較

- 純利益は25.43億ドル（25.93億ドルから2%減少）
- 希薄化後EPSは1.65ドル（1.74ドルから0.09ドル減少）
- ROEは15.5%（17.9%から低下）

## 2016年度第4四半期と2016年度第3四半期の比較

- 純利益は25.43億ドル（28.95億ドルから12%減少）
- 希薄化後EPSは1.65ドル（1.88ドルから0.23ドル減少）
- ROEは15.5%（18.0%から低下）

## 特別項目を除く：2016年度第4四半期と2016年度第3四半期の比較

- 純利益は25.43億ドル<sup>(2)</sup>（26.60億ドルから4%減少）
- 希薄化後EPSは1.65ドル<sup>(2)</sup>（1.72ドルから0.07ドル減少）

## 2016年度第4四半期の業績

純利益は25.43億ドルと前年同期の実績から0.50億ドル、率にして2%減少しました。背景には、前年同期の実績がコーポレートサポート、キャピタルマーケット両部門などの有利な所得税調整を反映した実効税率の低下から恩恵を受けたことがありました。この影響は、シティー・ナショナルの算入などを反映したウェルスマネジメント部門の好業績、およびインベスター&トレジャリー・サービス部門の過去最高益によっておおむね打ち消されました。パーソナル&コマーシャル・バンキング、インシュアランス両部門の業績はほぼ横ばいでした。

前四半期に比べると、純利益は3.52億ドル、率にして12%減少しました。住宅・自動車保険事業の売却に伴う2016年度第3四半期の2.35億ドルの税引後利益を除くと、純利益は1.17億ドル、率にして4%減りました。キャピタルマーケット、パーソナル&コマーシャル・バンキング両部門の減益が原因でしたが、インベスター&トレジャリー・サービス部門の好業績とウェルスマネジメント部門の増益によって部分的に打ち消されました。

<sup>2</sup> 住宅・自動車保険事業の売却益を除いた業績や財務指標はGAAPに準拠していません。各種要因の調整を含む詳細につきましては、本決算リリース（英語版）11ページの「主要な業績と非GAAP財務指標」のセクションをご参照ください。

#### 2016年度第4四半期の事業セグメント別業績

パーソナル&コマーシャル・バンキング部門の純利益は12.75億ドルで、前年同期の実績から0.05億ドル増加しました。カナダ銀行事業の純利益は12.46億ドルと、前年同期に比べて0.19億ドル、率にして2%増えました。利鞘の縮小によって打ち消された部分があるとはいえ大半のビジネスで取引高が堅調に拡大したことや、手数料ベースの収入が増加したことが主因でした。これらの要因はPCLやテクノロジー投資、事業拡大費用の増加によって一部相殺されました。カリブ海・米国銀行事業の純利益は0.29億ドルと、前年同期の実績から0.14億ドル、33%減少しました。事業拡大費用の増加などが背景にありましたが、手数料ベースの収入の伸びによって部分的に打ち消されました。

前四半期と比較すると、パーソナル&コマーシャル・バンキング部門の純利益は、0.47億ドル、率にして4%減少しました。カナダ銀行事業はテクノロジー投資の増加やマーケティング費用の季節的な拡大などを背景に0.38億ドル、3%の減益となりました。これらの要因は、大半のビジネスで取引高が増えたことや、投信販売手数料の増加を中心とした手数料ベースの収入の伸びによって一部相殺されました。カリブ海・米国銀行事業の純利益は0.09億ドル減少しました。

ウェルスマネジメント部門の純利益は3.96億ドルで、前年同期に比べて1.41億ドル、率にして55%増加しました。シティー・ナショナルの算入が純利益に0.89億ドル寄与したことや、リストラ費用の減少、手数料ベースの顧客の平均資産の拡大による増益などを反映しました。シティー・ナショナルは、0.29億ドル(税引き前で0.49億ドル)の無形資産償却費用と0.09億ドル(同0.16億ドル)の統合費用を除くと、ウェルスマネジメント部門全体の純利益に1.27億ドル寄与しました<sup>(3)</sup>。

前四半期との比較では、純利益は手数料ベースの顧客の平均資産が増加したことやシティー・ナショナルの業績寄与拡大などを原動力に、0.08億ドル、率にして2%増えました。

インシュアランス部門の純利益は2.28億ドルで、前年同期の実績から0.03億ドル、率にして1%増加しました。英国の新規年金契約に起因する増益などを反映しました。こうした要因は、前述の住宅・自動車保険事業の売却に伴う減益や、為替換算の影響によって部分的に打ち消されました。

前四半期に比べると、純利益は、1.36億ドル、率にして37%減少しました。前述の住宅・自動車保険事業の売却による2016年第3四半期の利益を除くと、純利益は、管理手続きや計算基礎率の変更を反映した保険数理上の好ましい調整、および英国の新規年金契約に起因する増益を含む海外保険事業の成長などから、0.99億ドル増加しました<sup>(2)</sup>。

インベスター&トレジャーリー・サービス部門の純利益は1.74億ドルと、前年同期の実績から0.86億ドル増加しました。信用スプレッドの縮小や好ましい金利動向を反映した資金調達・流動性関連事業の増益、および顧客預金の利鞘拡大が主因でした。これらの要因は、人件費の増加や実効税率の上昇、テクノロジー投資の拡大によって一部相殺されました。

前四半期と比較すると、純利益は信用スプレッドの縮小や好ましい金利動向を反映した資金調達・流動性関連事業の増益などに伴い、0.17億ドル、率にして11%増加しました。

キャピタルマーケット部門の純利益は4.82億ドルで、前年同期の実績に比べて0.73億ドル、率にして13%減少しました。背景には、前年同期の実績がそれ以前の期に関連する所得税調整を反映した実効税率の低下から恩恵を受けたことがありました。当四半期については、法人金融・投資銀行

<sup>3</sup> 無形資産償却費用と統合費用を除いたシティー・ナショナルの決算は、GAAPに準拠していないものの、当社の業績を巡る経営陣の見解について読者の理解を深めると思われる指標です。各種要因の調整を含む詳細につきましては、本決算リリース(英語版)11ページの「主要な業績と非GAAP財務指標」のセクションをご参照ください。

事業とグローバルマーケット事業の増益が業績改善に伴う変動報酬の増加によって部分的に打ち消されました。

前四半期と比較すると、純利益はトレーディング収入や新規株式発行の減少などから、1.53億ドル、率にして24%減少しました。これらの要因は米国などでの協調融資関連の増収によって一部相殺されました。

コーポレートサポート部門の純利益は0.12億ドルとなりました。差し引きすると不利な税金調整を主に反映しましたが、この要因は資産・負債の総合管理への取り組みによって一部打ち消されました。前四半期の純利益は資産・負債の総合管理などを背景に0.29億ドルでした。

**自己資本比率**——2016年10月31日時点では、バーゼルⅢに基づくCET1比率は内部資本の創出を主因に10.8%となり、前四半期末に比べて30bp上昇しました。

**信用の質**——全体のPCLは、カナダ銀行事業、シティー・ナショナルの算入を反映したウェルスマネジメント部門、およびキャピタルマーケット部門を中心に、3.58億ドルと1年前の水準から0.83億ドル、率にして30%増加しました。前四半期との比較では、PCLは、キャピタルマーケット、パーソナル&コマーシャル・バンキング、およびウェルスマネジメント各部門での増加を主因に、0.40億ドル、率にして13%増えました。PCL比率は0.27%で、1年前の水準から4bp、前四半期に比べると3bpそれぞれ上昇しました。

全体の減損債権総額(GIL)は39.03億ドルと1年前の水準から16.18億ドル増加しました。キャピタルマーケット部門での石油・ガス業界向け減損債権の増加や、シティー・ナショナルの算入などが原因でした。前四半期に比べると、GILはキャピタルマーケット部門での減損債権の拡大を背景に1.87億ドル増えました。GIL比率は0.73%で、1年前に比べて26bp、前四半期からは3bpそれぞれ上昇しました。

#### 財務その他の主要情報

	下記の日付までの3カ月間			下記の日付までの1年間	
	2016年 10月31日	2016年 7月31日	2015年 10月31日	2016年 10月31日	2015年 10月31日
(1株当たりの指標、実数、および百分率以外の単位は百万カナダドル)					
総収入	\$ 9,265	\$ 10,255	\$ 8,019	\$ 38,405	\$ 35,321
貸倒引当金 (PCL)	358	318	275	1,546	1,097
保険契約者給付金・保険金・契約取得費用 (PBCAE)	397	1,210	292	3,424	2,963
非金利費用	5,198	5,091	4,647	20,136	18,638
所得税引前純利益	3,312	3,636	2,805	13,299	12,623
<b>純利益</b>	<b>\$ 2,543</b>	<b>\$ 2,895</b>	<b>\$ 2,593</b>	<b>\$ 10,458</b>	<b>\$ 10,026</b>
<b>セグメント——純利益</b>					
パーソナル&コマーシャル・バンキング	\$ 1,275	\$ 1,322	\$ 1,270	\$ 5,184	\$ 5,006
ウェルスマネジメント	396	388	255	1,473	1,041
インシュアランス	228	364	225	900	706
インベスター&トレジャーリー・サービス	174	157	88	613	556
キャピタルマーケット	482	635	555	2,270	2,319
コーポレートサポート	(12)	29	200	18	398
<b>純利益</b>	<b>\$ 2,543</b>	<b>\$ 2,895</b>	<b>\$ 2,593</b>	<b>\$ 10,458</b>	<b>\$ 10,026</b>
<b>主要情報</b>					
1株利益 (EPS) ——基本	\$ 1.66	\$ 1.88	\$ 1.74	\$ 6.80	\$ 6.75
——希薄化後	1.65	1.88	1.74	6.78	6.73
普通株主資本利益率 (ROE) <sup>(1)</sup> <sup>(2)</sup>	15.5 %	18.0 %	17.9 %	16.3 %	18.6 %

<sup>(1)</sup> 平均値は当該期間の日次残高の平均を概算することを目的とした方法で計算しています。計算対象には、ROEの算出で用いる平均普通株が含まれます。詳細につきましては、2016年度年次報告書の「主要な業績と非GAAP財務指標」のセクションをご参照ください。

純資金利鞘（平均収益資産対比） <sup>(3)</sup>	1.70 %	1.69 %	1.67 %	1.70 %	1.71 %
平均純貸出金・手形引受額に対する全体の PCL の比率 (%)	0.27 %	0.24 %	0.23 %	0.29 %	0.24 %
平均純貸出金・手形引受額に対する減損債権の PCL の比率 (%)	0.27 %	0.24 %	0.23 %	0.28 %	0.24 %
貸出金・手形引受額に占める減損債権総額（GIL）の比率 (%) <sup>(4)</sup>	0.73 %	0.70 %	0.47 %	0.73 %	0.47 %
流動性カバレッジ比率 <sup>(5)</sup>	127 %	126 %	127 %	127 %	127 %
<b>自己資本比率とレバレッジ比率 <sup>(6)</sup></b>					
普通株式等 Tier 1（CET1）比率	10.8 %	10.5 %	10.6 %	10.8 %	10.6 %
Tier 1 自己資本比率	12.3 %	12.1 %	12.2 %	12.3 %	12.2 %
総自己資本比率	14.4 %	14.2 %	14.0 %	14.4 %	14.0 %
レバレッジ比率	4.4 %	4.2 %	4.3 %	4.4 %	4.3 %
<b>バランスシート等の主要情報</b>					
総資産	\$ 1,180,258	\$ 1,198,875	\$ 1,074,208	\$ 1,180,258	\$ 1,074,208
有価証券	236,093	233,998	215,508	236,093	215,508
貸出金（貸倒引当金を除く）	521,604	515,820	472,223	521,604	472,223
デリバティブ関連資産	118,944	130,462	105,626	118,944	105,626
預金	757,589	754,415	697,227	757,589	697,227
普通株	64,304	62,541	57,048	64,304	57,048
平均普通株 <sup>(1)</sup>	63,100	61,800	55,800	62,200	52,300
総リスク加重資産	449,712	445,114	413,957	449,712	413,957
受託資産（AUM） <sup>(7)</sup>	586,300	575,000	498,400	586,300	498,400
管理資産（AUA） <sup>(7) (8)</sup>	5,058,900	4,823,700	4,683,100	5,058,900	4,683,100
<b>普通株に関する情報</b>					
発行済株式数（千株）——平均、基本	1,483,869	1,485,915	1,443,992	1,485,876	1,442,935
——平均、希薄化後	1,491,872	1,494,126	1,450,405	1,494,137	1,449,509
——期末	1,485,394	1,485,085	1,443,423	1,485,394	1,443,423
1株公表配当金	\$ 0.83	\$ 0.81	\$ 0.79	\$ 3.24	\$ 3.08
配当利回り <sup>(9)</sup>	4.0 %	4.1 %	4.3 %	4.3 %	4.1 %
普通株価格（トロント証券取引所上場の RY） <sup>(10)</sup>	\$ 83.80	\$ 79.59	\$ 74.77	\$ 83.80	\$ 74.77
1株純資産	\$ 43.32	\$ 42.15	\$ 39.51	\$ 43.32	\$ 39.51
時価総額（トロント証券取引所） <sup>(10)</sup>	124,476	118,198	107,925	124,476	107,925
<b>事業に関する情報（実数）</b>					
従業員（フルタイム換算）（FTE）	75,510	76,941	72,839	75,510	72,839
銀行支店数	1,419	1,422	1,355	1,419	1,355
現金自動預払機（ATM）設置台数	4,905	4,901	4,816	4,905	4,816
1.00 カナダドルの米ドル換算レート、期中平均 <sup>(11)</sup>	\$ 0.757	\$ 0.768	\$ 0.758	\$ 0.755	\$ 0.797
1.00 カナダドルの米ドル換算レート、期末	\$ 0.746	\$ 0.766	\$ 0.765	\$ 0.746	\$ 0.765

<sup>(2)</sup> これらの指標は一般会計基準（GAAP）の下では意味が統一されておらず、他の金融機関が開示する類似の指標とは比較できない場合があります。追加の情報につきましては、「事業セグメント情報の評価・報告方法」のセクション、本決算リリース（英語版）の「主要な業績と非 GAAP 財務指標」のセクション、2016 年度第 4 四半期の補足財務情報、および 2016 年度年次報告書をご覧ください。

<sup>(3)</sup> 純資金利鞘（平均収益資産対比）は、純受取利息を平均収益資産で除して算出しています。平均値は当該期間の日次残高の平均を概算することを目的とした方法で計算しています。

<sup>(4)</sup> GIL には、シティ・ナショナルの買収に伴って取得した、損失発生の可能性が高い（ACI）貸出金が 4.18 億ドル含まれており（2016 年 7 月 31 日時点では 5.08 億ドル、2015 年 10 月 31 日時点では該当なし）、このうち 80%強は連邦預金保険公社との損失分担契約によって補償されています。ACI 貸出金は 2016 年度の GIL 比率を 8bp 押し上げました（2016 年 7 月 31 日時点では 10bp の押し上げ、2015 年 10 月 31 日時点では該当なし）。詳細につきましては、2016 年度年次報告書の注 2 および 5 をご参照ください。

<sup>(5)</sup> LCR（流動性カバレッジ比率）はバーゼル III の枠組みの下での規制指標であり、流動性規制ガイドラインに沿って算出しています。LCR は 2015 年第 2 四半期に先を見越して導入されました。詳細につきましては、2016 年度年次報告書の「流動性と資金調達リスク」のセクションをご参照ください。

<sup>(6)</sup> 上記の自己資本比率とレバレッジ比率は「完全実施」ベースです。レバレッジ比率は 2015 年第 1 四半期からバーゼル III の枠組みの下での規制指標となっています。

<sup>(7)</sup> 当該期末のスポット残高を表しています。

<sup>(8)</sup> AUA は受益権の観点からは顧客が所有しており、提供される管理サービスの性質に基づいて報告されています。AUA には、証券化された住宅ローンとクレジットカードローンがそれぞれ 186 億ドル、96 億ドル含まれています（2016 年 7 月 31 日時点では 188 億ドル、94 億ドル；2015 年 10 月 31 日時点では 210 億ドル、80 億ドル）。過去の期の数字は以前に開示した実績から修正してあります。

<sup>(9)</sup> 普通株 1 株当たりの配当金を当該期間における株価の高値と安値の平均で除した値と定義しています。

<sup>(10)</sup> トロント証券取引所の当該期末の終値に基づいています。

<sup>(11)</sup> 平均換算レートは当該期間の各月末のスポットレートを用いて計算しています。